

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3818101	キャリアデザインV Internship	杉浦菜穂子、古橋敬一			1	選択	1前期

科目の概要

様々な職場での体験学習を通して、業界の現状と職種の内容を把握する。事前指導では、インターンシップのながれをとらえ、実習での心構えを学ぶ。また、一般的なマナーについて実践ができるように修得する。実習を通して、現場の状況を知り、自分自身の適性をはかり、進路の選択に役立てることを通して課題解決能力を高め、pisa型学力をつけていきます。事後指導では、実習内容を発表し、他の職場の実状についても知り、今後の就職活動へ繋げていく。将来、社会の中で活躍していくために要となる建学の四大精神と社会人基礎力を育成していく。インターンシップを通して、企業理念、取り組みを理解し、働くことの意味を理解し、学生自身のキャリア形成の一助になるようにする。これはディプロマポリシーの②④⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① インターンシップでのマナー、社会常識について学ぶ。 ② インターンシップを通して、業界の現状と仕事内容について学ぶ。 ③ 職場での実習で実務を経験する。 ④ インターンシップを振り返り、自分の適性をはかり、進路選択に繋げる。	① 社会人としての、規律、挨拶、お辞儀、敬語、服装を説明、修得できる。これはディプロマポリシーの①②に相当する。 ② インターンシップを通して仕事内容が理解し、業界の現状を深めることができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。 ③ インターンシップを通して、職種のあり方を知り、企業で求められることについて説明することができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。 ④ インターンシップを振り返り、自身の学びをわかりやすく伝え、今後の就活活動の方向性を説明することができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	実習前中後において自分の役割を積極的に果たす。
	働きかけ力	
	実行力	実習での目標を明確にし、粘り強く取り組み、目標を達成する。実習前中後で提出しないといけない書類を丁寧に仕上げ、提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	実習を通して学んだ企業の現状と業界の現状を結びつけて考えることができる。
	計画力	
	創造力	実習で得た知識を利用し、今後の就職活動につなげることができる。
チームで働く力	発信力	実習前中後でのわからないことを積極的に質問紙し、指導者の話をよく聞いたうえで、自分の考えを提案する。
	傾聴力	実習中、指導者の話をしっかりと把握する。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。外部の組織・団体に迷惑をかけていないかどうかを含め、実習先のルールを守っていたかどうかを評価する。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「キャリアデザインI～IV」、「ビジネス実務演習」など
資格との関連：ビジネス実務士、上級秘書士(メディカル)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

日頃から新聞やTVニュースで社会のながれや経済動向を把握しよう。学外の授業であるので、実習先に迷惑がかからないように積極的に取り組み、自己の進路選択に結びつけて行動すること。	日常生活において、良いコミュニケーションの取り方(話し方や態度)について考えておこう。実習中は遅刻、欠席は厳禁です。実習先へ迷惑のかからないように細心の気配りを行いましょう。実習期間中は、実習内容を詳しくメモをとり、帰宅後実習記録にしっかりまとめよう。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
		レポート	30	①	✓	
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>1. 自分の活かせる場をみだし、積極的にインターンシップに参加できる。その後、積極的に自分にあった業界・企業を収集し、次の活動にむすびつけること、率先して連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分の体験したインターンシップを他者に、わかりやすく説明できる。</p> <p>3. インターンシップでの経験を活かして、活動を継続できる。</p> <p>秀は1. 2. 3. ができている。優は1. 2. ができている。</p>	<p>良の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスのもと、インターンシップでの目標をみだし、参加できる。連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分体験したインターンシップを他者に、説明できる。</p> <p>可の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスがあって、インターンシップに参加し、連絡、報告ができた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	インターンシップとは希望調査	講義と質疑応答 インターンシップの内容説明、ガイダンス パソコンを使用し、様々な業界と業種について調べる。	インターンシップの内容を理解することができる。	(予習) インターンシップ先を就職サイトなどで調べよう。(復習) インターンシップの内容を確認する。	60	主体性 傾聴力 規律性
2	インターンシップ体験者からの経験談 前回の振り返り、業種と職種。インターンシップと関連付けて、自身を考えてみる(大学での学び、将来の夢)	講義と演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) インターンシップ体験者からの経験談を聞く	インターンシップの目的がわかり、実習のながれをとらえることができる。	(予習) インターンシップの目的について(復習) 作成した書類を確認する。	60	主体性 発信力 傾聴力 規律性
3	昨年の学生が行ったインターンシップ先 インターンシップの必要性 相談時間	演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 昨年の学生が行ったインターンシップ先の説明 インターンシップの必要性について 相談時間	実習におけるおおよその心構えができる。 必要書類の準備、作成ができる。	(予習) 実習にあたっての心構えを読む(復習) インターンシップの目的を振り返る言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞い	60	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力
4	インターンシップ先の検討、決定 パソコンを使用し、インターンシップ先に調べる。 誓約書の作成、志望動機の下書き	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) インターンシップ先の検討、決定 誓約書の作成、志望動機の下書き	必要書類の作成ができる。	(予習) 実習にあたっての心構えを読む(復習) インターンシップの目的を振り返る言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習	60	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
5	志望動機の清書 企業に電話をかけて、事前訪問のアポをとろう 電話のかけ方の演習	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 志望動機の清書	電話を企業にかけ、事前訪問の予約ととることができる。	(予習) 自己紹介文の作成 (復習) 電話のかけ方の復習	60	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
6	企業訪問・インターンシップでの身だしなみ・挨拶 初めてあった企業の方への自己紹介の仕方	講義と演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 企業訪問・インターンシップでの身だしなみ・挨拶 初めてあった企業の方への自己紹介の仕方	インターンシップの際に適した身だしなみについて説明できる。	予習) 実習にあたっての心構えを読む(復習) インターンシップの目的を振り返る言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習	60	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	インターンシップの際のマナー(挨拶、コミュニケーションの取り方、資料の渡し方、インターンシップ先での電話の取り方)	講義と演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)挨拶、コミュニケーションの取り方、資料の渡し方、インターンシップ先での電話の取り方について演習	インターンシップの際のマナーについて説明できる。	(予習) 実習にあたっての心構えを読む(復習) 言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習	60	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8	事前挨拶 実習先へ事前挨拶 巡回教員へ事前挨拶	実習 事前挨拶、実習先へ事前挨拶、巡回教員へ事前挨拶の仕方	実習先と巡回教員へ挨拶ができる。	(予習) 挨拶の練習(復習) 実習先で受けた諸注意のまとめる。	60	主体性 働きかけ力 実行力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9～13	インターンシップ実習 実習先ー(例) ・アパレルメーカー ・商工会議所 ・医療機関 ・一般企業 ・ブライダルメーカー など	(実習先の担当者が記した実習記録でフィードバックする)	実習は指導者の指示に従い、社員の勤務に準じて業務を行う。毎朝、出勤簿に捺印し、出勤記録を残す。また、実習内容を詳細にメモを取り、帰宅後実習記録にまとめる。	(予習) 実習内容の確認 (復習) 実習した業務内容を実習記録にまとめる。お礼状の下書きを書く。(必ず点検を受ける。)	300	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	まとめ 実習報告会	プレゼンテーション演習(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) パソコンを使用し、インターンシップ実習についてまとめPPを作成する。	TPKシートに基づき、インターンシップを振り返り、それを述べることができる。	予習) TPKシートを実習記録を見て記載する。 (復習) 実習記録から自身の経験を振り返る。お礼状を書き、発送する。(必ず点検を受ける。)	60	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
15	まとめ 実習報告会 (オンデマンド) ・インターンシップ実習において社会人基礎力を発揮した点をクラスルームにて発表する。 ・他者の実習発表のPPをみてレポートにまとめ、クラスルームに提出する。	プレゼンテーション インターンシップ実習のまとめをクラスルームにて発表 他者のインターンシップ実習まとめPPをみる。 インターンシップ実習をまとめたPP、プリントをフィードバックし、確認する。	インターンシップ体験をPPにまとめ、クラスルームに提出することができる。 他者の実習PPを評価し、今後の就職活動の参考にすることができる。	(予習) 発表用パワーポイントを作成し、クラスルームに提出する。 (復習) 他の学生の体験、自分の体験から今後の就活につなげられるよう就活計画表を作成する。	60	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力